



9～10月に市内で行われたイベントについてお知らせします



作品についての思いを語る入江氏

入江観氏によるギャラリーリートーク
いりえかん
9月30日(土)、小杉放庵記念日光美術館で入江観氏によるギャラリーリートークが行われました。これは、「開館20周年記念 入江観故郷―日光を描く―」展に合わせ行われたものです。入江氏の日光での個展の開催は、13年ぶりとなりました。

入江氏は日光出身の画家で、当日は100名を超える方が来場しました。

入江氏は、「若い頃はあまり好きではなかった日光だが、大人になるにつれこんな良い場所はないと思うようになった」と語り、作品に込めた思いや、作品に関するエピソードなどを語りました。

来場した谷田貝久子さんは、「派手ではなく、落ちついた色使いで飽きることなくずっと見ていられる。素晴らしい絵ですね」と話してくれました。



集まったたくさんの来場者



暗闇に和傘が輝く「和傘華浪漫」

月あかり花回廊 第8章
9月30日(土)～10月9日(月・祝)に鬼怒川公園で「月あかり花回廊第8章」が開催されました。広い公園内には「月あかりの泉」をはじめ、「ふくろうの森」、「アートの森」、「浅草燈籠祭」、地域の子どもの絵を行灯にした「みんなのあかり」、紫色の藤のトンネル「紫藤華ぐぐり」など、さまざまなあかりの空間が並び、来場者を楽しませていました。また、



心を癒す「月あかりのコンサート」

日替わりで和楽器を演奏する「月あかりのコンサート」や地元グループが並んだ「おもてなし屋台」の他、「行灯づくり」や台東区の「鮎細工」などの体験コーナーも人気を博していました。

佐藤さん(宇都宮市)は、「毎年趣向を凝らしたあかりと和楽器のコンサートを楽しみに来ています。和傘華浪漫は本当にすてきね」と満面の笑みで話してくれました。

「秋の交通安全県民総ぐるみ運動」街頭広報活動



春日町交差点での啓発活動

9月21日(木)～30日(土)までの10日間、秋の交通安全県民総ぐるみ運動が実施されました。

期間中は、警察署や交通安全協会、同女性部会、トラック協会、安全運転管理者協議会などの関係団体が、市内各所で交通安全啓発活動を行いました。

運動初日の21日は、午前7時30分から、日光街道(国道119号)の春日町交差点で、細波勝也(さいはかつや)今市警察署長や斎藤文夫(さいとうふみお)市長、今市地方交通安全協会などの関係団体から約40名が参加し、街頭広報を行いました。「シートベルトとチャイルドシートを着用しましょう」と印刷したのぼり旗による啓発や、信号待ちのドライバーにチラシやストラップなどを配布し、「交通ルールを守って、安全運転をよろしくお願いします」と呼びかけました。



安全運転を呼びかける細波署長



今月の表紙

ツール・ド・NIKKO 2017



霧降高原を快走する参加者たち

9月10日(日)、市内を自転車で巡るイベント「ツール・ド・NIKKO2017」が日光だいや川公園を発着所に開催されました。

約47～100kmの4つのコースをタイムや順位に関係なく走るイベントで、7回目の開催となった今回は天気にも恵まれ、過去最多の2,045名の自転車愛好家が全国から日光に集まりました。

最長の約100kmを走る「山岳チャレンジコース」のエイドステーション(休憩所)となった大笹牧場では、参加者たちが、長く険しい山道を登ってきたにもかかわらず、市民や観光客の応援に笑顔で応え、牧場名物の牛乳を飲んだり、ソフトクリームを頬張ったりして、強い日差しと山道に立ち向かう鋭気を養っていました。



笑顔があふれるエイドステーション



小学生による障害物競走



地区対抗年齢別リレー

10月1日(日)、小来川小中学校校庭で小来川ふるさと大運動会が開催されました。これは、小来川の保育園児や小中学生、地区住民の運動会が一つになったものです。地区の運動会は、小来川地区をさらに6地区に分け、綱引きやムカデリレー、くじ引きなど、若男女問わず全員が自分の地区の勝利のために頑張っていました。最終種目の年齢別リレーは、抜き

つ抜かれたの白熱した戦いとなりました。一方、小学生の運動会は、今年から地区外の児童も参加できるオープン種目が作られ、地区を越え楽しそうに障害物競走や玉入れなどを行い、交流を深めました。また、この運動会で久しぶりに友人と再会し、昔話に夢中になっている人もいました。会場は終始笑いと熱気に包まれていました。

小来川ふるさと大運動会



かじか荘の外観



関係者によるテープカット



美人の湯と呼ばれる「庚申の湯(女湯)」

10月1日(日)、足尾地域の国民宿舎かじか荘がリニューアルし、オープン式が行われました。2階建ての建物は、周囲の自然と調和した緑と白のモダンな外観で、中に入ると市産木材を使用した温かみのある明るい雰囲気になっています。1階はレストランや研修室、休憩室があり、2階は客室が17室あります。浴室は、内風呂がガラス張りで開放感があ

り、露天風呂は見晴らしの良い岩風呂です。日帰り入浴は、市民が大人3000円(税込み・市民以外は6100円)で、宿泊は大人1泊2食で1万2,570円(税込み)です。足尾地域自治会会長の本間守さんは、「地元の方には地域のオアシスとして、県内外の方には周辺の銀山公園などと共に、自然に囲まれた秘境として愛される施設になってほしい」と話していました。

かじか荘リニューアルオープン!